学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

# 令和５年度シラバス（理科）

| 教科（科目） | 理科（科学と人間生活） | 単位数 | ２単位 | 学年（コース） | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 第一学習社　高等学校 科学と人間生活 | | | | |
| 副教材等 | 第一学習社　新課程版ネオパルノート科学と人間生活 | | | | |

## １　学習目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

⑴　自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技術を身につける。

⑵　観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

⑶　事前の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養い、科学に対する興味・関心を深める。

## ２　指導の重点

・知識の暗記よりも、科学的な性質や法則の理解を重視します。

・グループによる問題演習を中心に行い、主体的かつ協働的に問題解決をする態度の育成を目指します。

## ３　評価の観点の趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技術を身につけようとしている。 | 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養おうとしている。 | 事前の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を深めようとしている。 |

## ４　評価の規準と評価方法

| | 知識・技能　a | 思考・判断・表現　b | 主体的に学習に取り組む態度　c |
|---|---|---|---|
| 評価の観点 | 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技術を身につけようとしている。 | 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養おうとしている。 | 事前の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を深めようとしている。 |
| 評価方法 | 定期考査、小テスト、提出物、授業中の取り組み、などから評価します。 | | |

## ５　学習計画

| 学期 | | 単元名 | 時数 | 学習活動 | 評価の観点 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 中間Ⅱ | 物質の科学<br>・金属やプラスチックの化学的性質や用途<br>・資源の再利用方法<br>・身近な繊維や栄養素の化学的性質 | ２３ | ・定期考査、小テスト<br>・実験、課題の提出<br>・課題への取組み | ａｂ<br>ｂｃ<br>ｃ | 記述<br>記述<br>観察 |
| | 期末 | 生命の科学<br>・遺伝子の転写と翻訳<br>・ヒトの血糖値調節や免疫<br>・微生物の種類と性質、その利用 | １２ | ・定期考査、小テスト<br>・実験、課題の提出<br>・課題への取組み | ａｂ<br>ｂｃ<br>ｃ | 記述<br>記述<br>観察 |
| 後期 | 中間 | 熱や光の科学<br>・熱、仕事、電気などのエネルギー<br>・波（光や音）の性質 | １８ | ・定期考査、小テスト<br>・実験、課題の提出<br>・課題への取組み | ａｂ<br>ｂｃ<br>ｃ | 記述<br>記述<br>観察 |
| | 期末 | 地球や宇宙の科学<br>・地震や火山の発生する原理や特徴<br>・地球の熱収支<br>・太陽系の天体、太陰暦と太陽暦 | １７ | ・定期考査、小テスト<br>・実験、課題の提出<br>・課題への取組み | ａｂ<br>ｂｃ<br>ｃ | 記述<br>記述<br>観察 |

計７０時間（５０分授業）

## ６　課題・提出物等

・定期考査の他に、単元ごとの小テストがあります。

・実験、授業中の課題やノート、宿題、問題集、などの提出物が課されることがあります。

## ７　担当者からの一言

授業はグループ学習が多くなります。単なる教科に関する知識だけでなく、物事を主体的かつ協働的に解決する姿勢を身につけて欲しいと願っています。

学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

# 令和５年度シラバス（理科）

| 教科（科目） | 理科（化学基礎） | 単位数 | ２単位 | 学年（コース） | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 第一学習社　高等学校 新化学基礎 | | | | |
| 副教材等 | 第一学習社　新課程版ネオパルノート化学基礎 | | | | |

## １　学習目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴　日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

⑵　観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

⑶　物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

## ２　指導の重点

・１年次必履修科目であるので、発展的な内容については扱わず、基本的な事象を中心に扱う。

・前期は、物質が何からできているのかについて、後期は、物質がどのように変化するのかについて学ぶ。

## ３　評価の観点の趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| 化学と人間生活について、化学と物質を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けようとしている | 観察、実験の結果を図や表やグラフなどで表現することを通して、科学的に思考し、判断した結果を言葉で表現しようとしている。 | 物質とその変化の科学的な探究に主体的に関わろうとしている。 |

## ４　評価の規準と評価方法

| | 知識・技能　a | 思考・判断・表現　b | 主体的に学習に取り組む態度　c |
|---|---|---|---|
| 評価の観点 | ⑴　化学と人間生活 | | |
| | 化学と人間生活について、化学と物質を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けようとしている。 | 身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現しようとしている。 | 化学と人間生活に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |
| | ⑵　物質の構成 | | |
| | 物質の構成粒子を理解している。また、物質と化学結合についての観察、実験などを通して、物質と化学結合を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けようとしている。 | 物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現しようとしている。 | 物質の構成に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |
| | ⑶　物質の変化とその利用 | | |
| | 物質量と化学反応式、化学反応、化学が拓く世界を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けようとしている。 | 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現しようとしている。 | 物質の変化とその利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |
| 評価方法 | 以上の観点を踏まえ、定期考査・提出物・課題への取り組みなどから、評価します。 | | |

## ５　学習計画

| 学期 | | 単元名 | 時間 | 学習活動（指導内容） | 評価の観点 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 中間Ⅰ<br>※考査 | ⑴化学と人間生活<br>⑵物質の構成／物質とその構成要素 | １０ | 豊かに快適にしてきた化学<br>物質を構成する粒子 | a | 記述 |
| | 中間Ⅱ<br>※考査 | ⑵物質の構成／化学結合 | １３ | 共有結合・金属結合・<br>イオン結合の成り立ち | | |
| | 期末<br>※考査 | ⑶物質の変化／物質量と化学反応式 | １３ | 物質量と化学反応式 | b | 記述 |
| 後期 | 中間<br>※考査 | ⑶物質の変化／酸・塩基とその反応 | １７ | 酸と塩基反応の概念と法則 | c | 課題 |
| | 期末<br>※考査 | ⑶物質の変化／酸化還元反応<br>⑷化学が拓く世界 | １７ | 酸化還元反応・食品の保存・<br>洗剤・リサイクル | | |

計７０時間（５０分授業）

## ６　課題・提出物等

課題や問題集などの提出物が課されることがあります。

## ７　担当者からの一言

化学基礎の学習や実験では、お互いに協力したり、工夫したりしましょう。

学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

# 令和５年度シラバス（理科）

| 教科（科目） | 理科（生物基礎） | 単位数 | ２単位 | 学年（コース） | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 数研出版　新編 生物基礎 | | | | |
| 副教材等 | 数研出版　リードLightノート生物基礎 | | | | |

## １　学習目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴　日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

⑵　観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

⑶　生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

## ２　指導の重点

・単なる知識の暗記よりも、生物学の原理の理解を重視する。主体的な学習への取り組みを促す。

## ３　評価の観点の趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けようとしている。 | 生物や生物現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しようとしている。 | 生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |

## ４　評価の規準と評価方法

| | 知識・技能　a | 思考・判断・表現　b | 主体的に学習に取り組む態度　c |
|---|---|---|---|
| 評価の観点 | ⑴　生物の特徴 | | |
| | 生物の特徴について、その特徴、遺伝子とその働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けようとしている。 | 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現しようとしている。 | 生物の特徴に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |
| | ⑵　ヒトの体の調節 | | |
| | ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系による調節、免疫を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けようとしている。 | ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現しようとしている。 | ヒトの体の調節に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |
| | ⑶　生物の多様性と生態系 | | |
| | 生物の多様性と生態系について、植生と遷移、生態系とその保全を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。また、生態系の保全の重要性について認識しようとしている。 | 生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現しようとしている。 | 生物の多様性と生態系に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |
| 評価方法 | 以上の観点を踏まえ、定期考査・提出物・課題への取り組みなどから、評価します。 | | |

## ５　学習計画

| 学期 | | 単元名 | 時間 | 学習活動（指導内容） | 評価の観点 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 中間Ⅰ<br>※考査 | ⑴ 生物の特徴<br>1.生物の多様性と共通性 ①生物の多様性～<br>3.呼吸と光合成 ①呼吸 | １０ | 生物の多様性・<br>生物の共通性・細胞・<br>生命活動・呼吸 | a<br>b<br>c | 記述<br>記述<br>課題 |
| | 中間Ⅱ<br>※考査 | ⑴ 生物の特徴<br>3.呼吸と光合成 ②光合成～<br>⑵ 遺伝子とそのはたらき<br>2.遺伝情報の複製と分配 ③遺伝情報の分配 | １３ | 光合成・<br>エネルギーの流れ・<br>遺伝情報とＤＮＡ・<br>遺伝情報の複製と分配 | | |
| | 期末<br>※考査 | ⑵ 遺伝子とそのはたらき<br>3.遺伝情報の発現 ①遺伝情報とタンパク質～<br>⑶ ヒトの体内環境の維持<br>1.体内での情報伝達と調節<br>②神経系による情報伝達と調節 | １３ | タンパク質の合成・<br>細胞の分化・ゲノム・<br>体内での情報伝達・<br>神経系による調節 | | |
| 後期 | 中間<br>※考査 | ⑶ ヒトの体内環境の維持<br>1.体内での情報伝達と調節<br>③内分泌系による情報伝達と調節～<br>⑷ 生物の多様性と生態系<br>1.植生と遷移 ①植生とその成りたち | １７ | 内分泌系による調節・<br>体内環境の維持・<br>血統濃度の調節・<br>血液循環・免疫・植生 | | |
| | 期末<br>※考査 | ⑷ 生物の多様性と生態系<br>1.植生と遷移 ②植生の遷移～<br>4.生態系のバランスと保全 ③生態系の保全 | １７ | 植生の遷移と再生・<br>植生とバイオーム・<br>生物の多様性・生態系 | | |

計７０時間（５０分授業）

## ６　課題・提出物等

課題や問題集などの提出物が課されることがあります。

## ７　担当者からの一言

単に教科の知識を覚えるだけでなく、自然科学現象の仕組みを理解できるように意識して学習へ取り組んでください。

学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

# 令和５年度シラバス　（理科）

| 教科（科目） | 理科（化学基礎） | 単位数 | ２単位 | 学年（コース） | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 第一学習社　高等学校 新化学基礎 | | | | |
| 副教材等 | 第一学習社　新課程版ネオパルノート化学基礎 | | | | |

## １　学習目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴　日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

⑵　観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

⑶　物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

## ２　指導の重点

・１年次必履修科目であるので、発展的な内容については扱わず、基本的な事象を中心に扱う。

・前期は、物質が何からできているのかについて、後期は、物質がどのように変化するのかについて学ぶ。

## ３　評価の観点の趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| 化学と人間生活について、化学と物質を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けようとしている | 観察、実験の結果を図や表やグラフなどで表現することを通して、科学的に思考し、判断した結果を言葉で表現しようとしている。 | 物質とその変化の科学的な探究に主体的に関わろうとしている。 |

## ４　評価の規準と評価方法

| | 知識・技能　a | 思考・判断・表現　b | 主体的に学習に取り組む態度　c |
|---|---|---|---|
| 評価の観点 | ⑴　化学と人間生活 | | |
| | 化学と人間生活について、化学と物質を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けようとしている。 | 身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現しようとしている。 | 化学と人間生活に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |
| | ⑵　物質の構成 | | |
| | 物質の構成粒子を理解している。また、物質と化学結合についての観察、実験などを通して、物質と化学結合を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けようとしている。 | 物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現しようとしている。 | 物質の構成に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |
| | ⑶　物質の変化とその利用 | | |
| | 物質量と化学反応式、化学反応、化学が拓く世界を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けようとしている。 | 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現しようとしている。 | 物質の変化とその利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |
| 評価方法 | 以上の観点を踏まえ、定期考査・提出物・課題への取り組みなどから、評価します。 | | |

## ５　学習計画

| 学期 | | 単元名 | 時間 | 学習活動（指導内容） | 評価の観点 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 中間Ⅰ<br>※考査 | ⑴化学と人間生活<br>⑵物質の構成／物質とその構成要素 | １０ | 豊かに快適にしてきた化学。<br>物質を構成する粒子。 | a | 記述 |
| | 中間Ⅱ<br>※考査 | ⑵物質の構成／化学結合 | １３ | 共有結合・金属結合・イオン結合の成り立ち。 | | |
| | 期末<br>※考査 | ⑶物質の変化／物質量と化学反応式 | １３ | 物質量と化学反応式。 | b | 記述 |
| 後期 | 中間<br>※考査 | ⑶物質の変化／酸・塩基とその反応 | １７ | 酸・塩基反応の概念・法則。 | c | 課題 |
| | 期末<br>※考査 | ⑶物質の変化／酸化還元反応<br>⑷化学が拓く世界 | １７ | 酸化還元反応。水道水・食品の保存・洗剤・リサイクル。 | | |

計７０時間（５０分授業）

## ６　課題・提出物等

課題や問題集などの提出物が課されることがあります。

## ７　担当者からの一言

化学基礎の学習や実験では、お互いに協力したり、工夫したりしましょう。

学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

# 令和５年度シラバス　（理科）

| 教科（科目） | 理科（生物基礎） | 単位数 | ２単位 | 学年（コース） | 3年次（人文自然系列） |
|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 実教出版　「高校 生物基礎 新訂版」 | | | | |
| 副教材等 | 実教出版　「アクセスノート　生物基礎　改訂版」 | | | | |

## １　学習目標

生物や生物現象についての観察・実験などを通じて、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則などを学ぶ

## ２　指導の重点

・単なる知識の暗記よりも、生物学の原理の理解を重視する。
・主体的な学習への取り組みを促す。

## ３　学習計画

| 学期 | 区 | 単元(主要学習領域) | 学習活動（指導内容） | 時間 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 中間Ⅰ | ○生物の共通性と多様性<br>○細胞とエネルギー | ・生物の共通性の由来、細胞の特徴について学習を進める。<br>・代謝とエネルギー、酵素について学習を進める。 | １１ | 定期テスト<br>小テスト<br>提出物 |
| | 中間Ⅱ | ○細胞とエネルギー<br>○遺伝情報とＤＮＡ | ・呼吸、光合成について学習する。<br>・ゲノム、ＤＮＡの研究の歴史、ＤＮＡの構造について学習する。 | １２ | 定期テスト<br>小テスト<br>提出物 |
| | 期末 | ○遺伝情報の分配<br>○遺伝情報とタンパク質の合成 | ・細胞分裂とＤＮＡについて学習する。<br>・セントラルドグマ、遺伝子とタンパク質、タンパク質の合成、遺伝子の発現について学習する。 | １２ | 定期テスト<br>小テスト<br>提出物 |
| 後期 | 中間 | ○体内環境<br>○体内環境の維持のしくみ<br>○免疫 | ・恒常性について学習する。<br>・自律神経系とホルモンによる体内環境の調節について学習する。<br>・生体防御、免疫機構のしくみについて学習する。 | １７ | 定期テスト<br>小テスト<br>提出物 |
| | 期末 | ○植生と遷移<br>○気候とバイオーム<br>○生態系と物質循環<br>○生態系のバランスと保全 | ・遷移について学習する。<br>・バイオームの分布について学習する。<br>・生態系の物質循環とエネルギーの流れについて学習する。<br>・生態系の保全について、人間生活との絡みで学習する。 | １８ | 定期テスト<br>小テスト<br>提出物 |

計７０時間（５０分授業）

## ４　課題・提出物等

宿題、実験や課題のレポートがあります。

## ５　評価規準と評価方法（評価は次の観点から行います）

| ①関心・意欲・態度 | ②思考・判断・表現 | ③観察・実験の技能 | ④知識・理解 |
|---|---|---|---|
| 生物学への関心を深め、進んで生物学を理解しようとしている。 | 科学的な思考・判断で生命現象を理解し、表現できている。 | 学習内容を科学的に理解して、確実な実験操作を身につけている。 | 学習内容を理解し生物学の知識を身につけている。 |

以上の観点を踏まえ　「授業の取組み（授業態度、積極性）」「定期テスト（学習内容の理解）」「提出物」などから総合的に評価します。

## ６　担当者からの一言

単なる教科に関する知識を覚えるだけでなく、自然科学現象の仕組みを理解できるように意識して学習へ取り組んで欲しいと思います。

学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

# 令和５年度シラバス　（理科）

| 教科（科目） | 理科（生物） | 単位数 | ４単位 | 学年（コース） | ３年次（人文自然系列） |
|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 東京書籍　「スタンダード生物」 | | | | |
| 副教材等 | 実教出版　「アクセスノート　生物」 | | | | |

## １　学習目標

生物学的な事物・現象についての知識の習得や観察・実験などを通じて、生物および生命現象に対する詳細な理解を深め、科学的に探求する能力と態度を育てる。

## ２　指導の重点

・主体的かつ協働的な学習への取り組みを促す。
・知識の暗記よりも、生物学の原理の理解を重視する。

## ３　学習計画

| 学期 | 区 | 単元(主要学習領域) | 学習活動（指導内容） | 時間 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 中間Ⅰ | ○生命現象と物質 | ・細胞、細胞膜を介した物質の移動、酵素などについて学習する。 | ２２ | 定期テスト<br>小テスト<br>提出物 |
| | 中間Ⅱ | ○遺伝子の働き | ・ＤＮＡの構造とその複製のしくみ、セントラルドグマを学習する。 | ２４ | 定期テスト<br>小テスト<br>提出物 |
| | 期末 | ○代謝とエネルギー<br>○生殖と発生 | ・異化と同化の過程を学習する。<br>・有性生殖の仕組み、動物・植物の発生について学習する。 | ２４ | 定期テスト<br>小テスト<br>提出物 |
| 後期 | 中間 | ○生物の環境応答<br>○生命の起源と生物の変遷<br>○生物の進化 | ・植物の環境応答、動物の反応と行動について学習する。<br>・生物進化の歴史、および進化の仕組みを学習する。 | ３５ | 定期テスト<br>小テスト<br>提出物 |
| | 期末 | ○生物の系統<br>○生態と環境 | ・ドメインや五界説による生物の分類を学習する。<br>・生物の相互作用などについて学習する。<br>・環境問題、生態系の保全を学習する。 | ３５ | 定期テスト<br>小テスト<br>提出物 |

計１４０時間（５０分授業）

## ４　課題・提出物等

宿題の他に、実験や課題に関わるレポートの提出などがあります。

## ５　評価規準と評価方法（評価は次の観点から行います）

| ①関心・意欲・態度 | ②思考・判断・表現 | ③観察・実験の技能 | ④知識・理解 |
|---|---|---|---|
| 生物世界への関心を持ち、進んで生物を理解しようとしている。 | 生命現象を科学的な思考に基づき論じることができる。及びレポート表現が的を得たものである。 | 学習内容を適切な用語を用いて表現でき、また実験の技能が的確である。 | ﾐｸﾛ的、ﾏｸﾛ的な生物と生命に関する知識を身につけ、かつ理解している。 |

以上の点を踏まえ、「授業への取り組み（授業態度、積極性、出欠席）」「週末課題」「定期テスト（学習内容の理解）」「提出物(自習課題も含む)」などから総合的に評価します。

## ６　担当者からの一言

単なる教科に関する知識の暗記ではなく、自然科学現象の理解を目指します。
また、様々な問題を主体的にかつ協働的に解決する姿勢を身につけて欲しいと願っています。